

全日本エコドライブチャンピオンシップ 2017 学生クラス表彰台

靄（3年）、橋本（2年）

2017年8月21日(月)に鈴鹿サーキットにて開催された全日本エコドライブチャンピオンシップ2017に参加しました。メンバーは河本・金粕(4年生)、靄(3年生)、重富・橋本・木藤(2年生)、横手・大出・内山(1年生)の9名です。

ドライバーとナビゲータの二人一組でサーキット、チャレンジ、テクニカルの全3ラウンドをそれぞれ最新のエコカーで走行し、燃費(電費)とタイムの合計ポイントによって順位を競いました。

本レースは、環境省が推進する国民運動「COOL CHOICE」の一環として自動車関連団体と連携し、自動車レースの聖地である鈴鹿サーキットで本レースを開催することで、学生および全国のエコドライブトップランナー企業・自治体が、普段のエコドライブの技術や成果を競い合う場として、燃費が良く、CO2および交通事故削減に寄与する「エコドライブ」の全国的なムーブメントをつくることを目的としています。

競技内容としては、鈴鹿サーキット国際レーシングコース、サーキット外周路等を用いて、主催者にて準備した車両(3車種)を、車種毎に異なったコースをそれぞれ走行。燃費(200ポイント満点)とタイム(100ポイント満点)の3車種合計のポイントによって、順位を競います。

第1ラウンド：チャレンジラウンド

車両：トヨタ プリウス PHV

ドライバー：金粕/ナビゲータ：橋本

メインストレート上にてスタートし、本コースを5周走ります。昨年、学生の部優勝を勝ち取ったため、栄光のゼッケン1を付け、先頭でスタートを切ることができました。プリウスPHVには完全に電気で走るEVモードがあります。バッテリー使用量は20%分と決められており、いかにバッテリーをぎりぎりまで使うかが非常に難しかったです。燃費だけに的を絞った走りを目指し、結果は61チーム中8位でした。

第2ラウンド：テクニカルラウンド

車両：日産 NOTE e-POWER

ドライバー：河本/ナビゲータ：大出

本コースを4周走った後、ピットレーンからパドックに移動し2つのチェックポイントにて課題をクリアします。チェックポイントでは、1.スラローム 2.空気圧チェックの2つの課題が課せられました。また、このラウンドでは1周4分30秒の目標タイムとの差をタイムポイントとして計算します。常にストップウォッチとにらめっこをしながらのラウンドとなりました。大会に向けて事前に北九州日産様で試乗車を運転させていただきましたが、アクセルOFF時の回生ブレーキを完璧に使いこなすことが難しかったです。結果は61チーム中11位でした。

第3ラウンド：サーキットラウンド

車両：ホンダ フィット

ドライバー：靄/ナビゲータ：重富

ピットガレージよりスタートし本コースを6周します。燃費だけに的を絞った走りを目指しました。最も長い距離を走るラウンドであり、前が詰まってしまい、自分のペースを守るのに必死でした。結果は61チーム中10位でした。

以上3ラウンドの合計ポイントにより、学生クラスの順位は36チーム中3位、総合順位では7位となりました。目標にしていた総合優勝は出来ませんでした。2年連続の学生クラスでの表彰、さらに昨年優勝の片山右京氏率いるチームYOKOHAMA（総合順位10位）にリベンジを果たすことができました。また、競技の合間を縫って、1年生女子部員が作成したエコドライブ宣言メッセージポスターが特別賞を受賞しました。

競技終了後には片山右京氏らのトークショーや参加者同士の意見交換会が行われ、今回の大会について振り返るとともに、興味深いお話を聞くことができました。

今年度もトヨタ、日産、ホンダ、モビリティランド、NOKの各社の人事関係者も参加しており、各企業と学生との交流の場としての印象を強く受けました。今回の全日本エコドライブチャンピオンシップの参加にあたり、OB会よりいただいた援助金を大切にに使わせていただきました。ありがとうございました。

OBの方々をはじめとする自動車部の皆様のご支援により参加することができた今回のエコドライブチャンピオンシップでの経験を活かし、運転技術の向上に努めて行きたいと思えます。そして来年はこの悔しさをばねに、総合優勝を目標にし、継続して参加できればと思っています。

最後になりますが、現地まで応援に駆けつけて下さった孝橋さん、近藤さんをはじめとするOBの皆様、試乗や運転指導をお願いさせて頂いた、トヨタ、日産、ホンダの各ディーラー様、その他各方面の皆様のご協力、ご支援、ご声援のお陰で学生の部3位という素晴らしい結果を残すことが出来ました。厚く御礼申し上げます。

以上

<参加者コメント>

・河本（4年生）

エコドライブチャンピオンシップは4回目の参戦で、前年度総合2位でしたので今年度こそは！と総合優勝を目指しました。私はテクニカルステージの日産ノート e-power のドライバーを務め、e-power という今までにない車両に慣れるため、学校近くの日産を伺い試乗させていただきました。試乗には同乗する1年生と一緒にいき、慣れない車の説明や車両の特性、燃費走行のコツを教えていただき2人でポイントを稼げる作戦を考えました。テクニカルステージは全体の燃費でのポイントと1周の目標タイムとの誤差でのポイントで競われます。つまり燃費とタイムの両方で1位のポイントを獲得する可能性があり、それを目標にコ・ドライバーと連携して競技を行いました。その結果、このラウンドで11位という結果を残すことが出来、学生の部3位に貢献することが出来ました。

・金粕（会計：4年生）

前回大会に引き続き2度目のプリウスドライバーとしての参加で今回使用するPHVにも事前に試乗し、説明書、HPなどで車輛研究を行い、ゲームで鈴鹿を走るシミュレーションをして臨んだ大会でした。前回大会では学生の部で優勝したので、ゼッケン1番、1番グリッドからのスタートとなり非常に誇らしかったです。今回は規定タイムより遅く走るとペナルティを取られる条件が付き、ある程度のタイムで且つ燃費を稼がないといけなかったのが難しい戦いでした。自分は規定タイムギリギリで走り、ポイントの配分が高い燃費を稼ごうと走り、このラウンドの鍵となるEVモードを効果的に使ったことで8位という結果が残せたと思っています。

・ 轟（主将・ラリー委員長：3年生）

今回、初めてエコドライブチャンピオンシップに参加しました。初めての参加で、初めてのドライバーだったので前回大会優勝をしたドライバー2人の足を引っ張ってしまうのではないかととても内心不安でした。自分が乗るFITの特性を知るためにディーラーの方に試乗のお願いをして試乗させて頂き慣れるということが出来ました。結果はかなりのプレッシャーの学生3位というまずまずの結果だったので内心ほっとしています。なかなか経験できない鈴鹿サーキットを走行でき、学生3位という成績を残せたことはとても貴重な経験をすることが出来、良かったです。

・ 橋本（主務：2年生）

2016年大会に引き続き、ナビとして参加させていただきました。鈴鹿サーキットで、さらにメインストレートで1番グリッド、先頭でスタートを切るというのはなかなか経験できることではないと思います。また、競技中はナビとして助手席でタイムの監視と、EVモードの切り替えなどの操作をしました。目標としていた総合優勝には届きませんでしたが、学生クラスで3位という結果が残せました。貴重な経験ができたと思います。来年は、ドライバーとして参加したいと思います。

・ 重富（2年生）

僕は今回2回目で、ナビとして参加しました。今回も前回と同様、フィットのナビだったので、前回の経験を少しは生かすことが出来たと思います。また、来年は3年間の経験を生かし、ドライバーとして参加したいです。

・ 木藤（2年生）

今回の大会はサービスとして参加しましたが鈴鹿サーキットという大きな会場を肌で感じ、大会の雰囲気をつかむことが出来ました。九工大自動車部としても昨年の優勝に続き学生3位に輝いたので実力を証明することが出来たと思います。来年の大会は自分もドライバーとして出場し、先輩たちの結果に恥じぬよう走りたいです。

・ 大出（1年生）

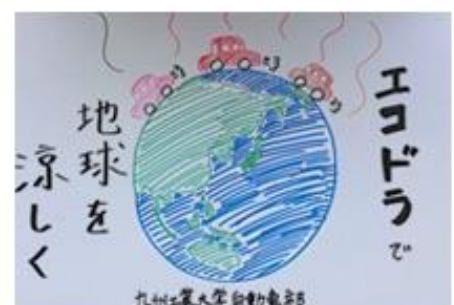
今回の大会は、自動車部の活動の中で初めてナビとして参加させていただきました。全国規模の大会に参加し、有名な鈴鹿サーキットで走行するという貴重な体験ができてとても嬉しく思います。また、先輩方の大会に真剣に臨まれる姿勢を見て学ぶこともできました。非常に有意義な体験ができたと思います。

・ 横手（1年生）

エコドライブチャンピオンシップを通して鈴鹿サーキットを直でみるという貴重な体験をさせていただきました。また、大会を勝つための姿勢や心構えを選手として参加された先輩方を見て学ぶことができました。次回も積極的に参加していきたいです。

・ 内山（1年生）

今回のエコドラでは競技自体に参加したわけではありませんが、鈴鹿サーキットに実際に行くことができ良い体験になりました。また、エコドライブ宣言メッセージポスターでは特別賞をいただいて嬉しかったです。



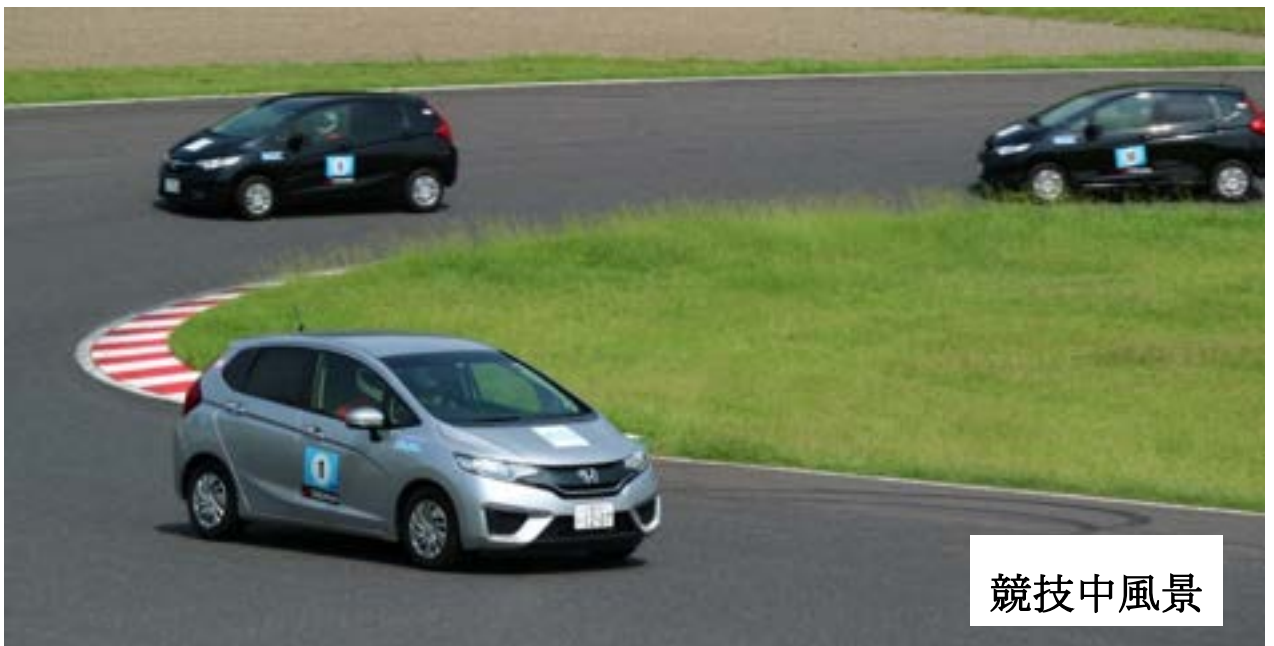
COOL CHOICE賞
九州工業大学



表彰式後集合写真



スタート前風景



競技中風景